

櫻沢 克幸議員
さくらざわ かつゆき

問 地方創生及び第5次総合振興計画の策定並びに「まちひと・しごと創生法」と総合戦略等の策定について

答 美里発展に向け、渾身の力で邁進する（町長）

美里町総合戦略は、どのよう
 目標を設定し、実績を積
 積み上げるかで決まるわけ
 である。その中でも、若い
 人たちの雇用や所得問題が
 あるということであり、当
 町でもより所得の高い安定
 した仕事を確保することが
 重要である。総合戦略は、
 役場だけでなく、地元企業
 経営者や大学・高校、金融
 機関、労働団体、メディア、
 議会などが参加してプラン
 をつくるのが重要である。地
 域を変えるのは、若者など
 斬新な発想をする人がよい
 と思う。中央では、国家公務
 員・大学教授・民間の調査機
 関

職員などを派遣するとして
 いる。

問 持続可能なまちづく
 りの中長期展望と美
 里町は「消滅しない・消滅
 させない」強い決意を伺う。

町長 町では、平成27
 年度に地方人口
 ビジョンと地方版総合戦略
 を策定します。現在、少子
 高齢化や人口減少問題など
 課題が山積しており、これ
 らの課題をクリアするため
 に若い世代の定住促進・雇
 用拡大・子育て支援策など
 魅力ある力強い施策を第5
 次総合振興計画及び総合戦
 略に反映させます。私は、
 この計画を実行に移し、消

滅などを感じさせない持続
 可能なまちづくりと、ふる
 さと美里の発展に向け、渾
 身の力を振り絞って邁進し
 ます。

問 中央からの人材派
 遣及び「みさとみ
 らいフェス」のまちづく
 りへの生かし方等につい
 て伺う。

町長 中央からの人
 材派遣につい
 ては、相談窓口を設け、
 積極的に支援するための
 体制として、国の職員等
 による地方創生コンシエ
 ルジュが創設されました。
 この制度に応募して積極

的な活用をします。「みさと
 みらいフェス」では、NH
 Kのテレビ・ラジオでも取
 り上げられ、町内外から70
 名の若者の参画があり、美
 里町に興味を持っていただ
 き、定住や町内の若者が、
 さまざまな取り組みにチャ
 レンジするなど人材育成に
 もつながればよいと企画し
 ました。

若者が、町に誇りと夢を
 抱いて定住していただける
 よう支援します。また、田
 園のすばらしさやお祭りへ
 の参加、サイクリングコー
 ス等、さまざまな意見をい
 ただいており、まちづくり
 に生かします。

■その他の質問

ふるさと納税について



みさとみらいフェス



ミムリンの
 一コマ

美里MSミムリン

みさとみらいフェス…美里町のこれからを考えていくイベントです。トークセッションや特産品を使った体験プログラムなどが行われました。

笹井 均 議員

町民アンケートの町民の切実な意見要望に応えること

答 子育て支援の充実にも力を注がなければなりません (町長)



問 日本共産党美里支部がこの間に行ったアンケートに切実な意見が寄せられています。

①「町政に力を入れてもらいたいこと」の一番に「国保税や介護保険料の軽減」2番目に「医療・介護・在宅支援など高齢者福祉の充実」3番目に「若者が住めるまちづくり」です。

②子育て支援では1番が「高校卒業までの医療費の無料化」。2番目に「いじめ不登校対策」。3番目に「保育料学校給食費などの軽減」です。

③国保税や水道料金は「上げないでほしい」が71・8%

です。町民の願いに応える対策をすること。

町長 「子育てをするなら美里町で」と心

の中では思っており、4月から多子家庭の保育料軽減を行います。給食費に町の補助金を入れ始めました。

「部落解放都市宣言の町」の看板を撤去すること

問 町民の努力と町長の決断で同和対策事業は終了しました。「部落解放都市宣言の町」看板の撤去を望みます。

町長 いろいろな看板があるが老朽化

もあり、少しずつ撤去しています。どこかで撤去は必要になります。また、議会決議ですので議員と協議します。

町長 ①駒衣地区の農免道

がなく危険です。県道本庄寄居線の歩道整備を早急にすること。

問 ②防犯灯が行政区境などにありません。監視カメラの設置と防犯灯のLED化を町の責任ですること。

交通安全対策や防犯対策を充実させ、安全安心なまちづくりを

町長 ①駒衣の側溝は構造上、単純に蓋ができないので、当面、端部にポールを立て、注意喚起します。県道本庄寄居線も歩道の整備を要望します。

②防犯カメラの道路設置に、まだ二の足を踏んでいます。

います。街路灯のLED化は1767基のうち527基の予定でLED化率が29・8%となります。今後、防犯灯の新設は蛍光管のつけかえ等、すべてを町が行います。



3月定例会では9名の議員が一般質問に登壇。さまざまなことについて町に考えを聞きました。

ミムリンのロメモ

町民が望む職員を育成してほしい!

中嶋 敬子 議員

答 しっかり取り組みます (町長)

問 町民サイドから新しい取り組みや施策について提案されることはごくまれです。役場の職員が牽引

役であることに間違いはないと思うし、それを町民は望んでいるのではないのでしょうか。町民の先に立ち、町民の意見を聞き、町民と一緒に汗を流すことのできる職員を育成していただきたいと思

町長 職員には、

「地域づくりのリーダーになってほしい」というのが私の願いです。が、残念ながら結構周りの目があって、実際にやろうとするとすごく難しいです。なおかつ、そ

職員には、

「地域のことを思い、町の将来を思う職員を育てるといのが私の大きな仕事だと思

最近では、地域再生

計画や「みさとみらいフェス」など、若い職員にボランティアで参加をいただいています。その中で、町について自分はどうあるべきなのか、どうかかわれる

のかということ

を考えたときに、朝礼のときにはある冊子の輪読をしています。書いてあることは当たり前のことですが、ふだん我々が忘れてしまうことを当たり前のこととして毎日気づかせてくれるというふう



紙面の都合上、議員本人が要約したものを掲載しています。発言の全文は、会議録や議会ホームページから見られます。

ミムリンのロメモ

角田 朝枝議員

問 高校卒業まで子どももの医療費を無料にできないでしょうか！

答 検討しながら進むべき案件です！（町長）



問 町長は施政方針の中で、就学前の子どもたちが100人未満が続いていることや、日本創生会議が消滅の可能性が高いと発表した町に美里町が入っていることに危惧を持って、「人口を増やすには、若い世代のために若い世代の定住を促すことや子育て支援の充実、雇用の拡大など魅力あるまちづくりの施策が重要である」と述べています。高校卒業までの医療費を無料にするこの見解をお聞かせください。お隣の寄居町では準備中と聞いています。滑川町では平成23年度から始めており400

人で500万円だということとです。平成25年度は408人で600万円の予算を組んだそうです。町では27年度の予算を26年度より190万円ほど安く見積もりました。高校生が314人と聞きました。あまり財源を使わないでできるではありませんか。

町長 平成24年度から中学校卒業までの医療費の無料化をして子育て世帯の経済的負担軽減を図ってきました。金額的には今の医療費で総額でいくと700万円はかからないかもしれませんが、基本的には義務教育までの間の中でできるものを充実

問 公民館はどこにもあつて、身近な存在

していきたい。
公民館をだれもが気軽に利用できるところにするために！

でありながら、使うことがないという存在になってしまっています。私は大沢公民館の「パッチワーク」講座に参加してサークルをつくり10年続けました。皆さんとも仲よしになり、生涯を通しての友人ができたと思います。10年前という地区館にも館長がいて、お留守番の人がいました。今は中央公民館まで鍵を借りるにいかなくてはなりません。子どもたちも公民館が開いていけば、学校帰りによって本を読んだりできました。公民館の歴史は長く、江戸時代からあったそうです。今の形は戦後つくられました。

使用する場合は、手続とか守っていただくことがありますが、それは借りにくい部分にはなっていないと思う。工夫、改善をしながら利用者を増やしていけたらと思う。

教育長 つながり強くても公民館の役割は多々ある。

原田 敏夫議員

問 下見玉地区産業廃棄物処理業者の事故について

答 事故の原因と経過、今後の運営について説明を求める（町長）



問 平成27年1月6日午後3時ごろ、下見玉地区内の医療系産業廃棄物処理会社において死亡事故がありました。このことに対し町長はどのように把握しているのか。また、地区住民への説明があったのか伺います。

稼働が再検討されたとしても、町としてこれを受け入れることは容易なことではございません。産業廃棄物処理施設の許可権者は埼玉県であり、町から直接施設

町長 今現在施設運営会社の代表からは、施設の稼働を無期限休止する旨、口頭で聞いております。当施設がこれまで地元に対して心配をかけてきたこと、さらにこのたび死亡者まで出た重大な事故を起してしまつた事実を鑑みれば、再びこの施設の



医療系産業廃棄物処理会社

の運営者に対して処分を言い渡すことや指導を行うことはできませんが、町としては県に対しこの事故に関する処分と、もし再稼働に向けた手続がなされる場合は、厳正なる審査と確実な指導をしていただくよう強く働きかけてまいります。

今後町としては、どのような取り組み・指導が行えるのか、警察と労働基準監督署の捜査結果が出た後、報告書の提出を施設運営者に依頼をし内容を精査の上、事故後の処理が適正になされたか確認をいたします。

また、地元住民への事故報告説明会について開催を

要請し、事故の原因と経過、今後の運営について説明を求めたいと思います。

定住自立圏構想について

問 定住自立圏構想は本庄市と連携して、美里町・上里町・神川町との

圏域全体の安全で安心した生活を目的として、魅力ある圏域を創造する計画であります。この期間も間もなく終了すると考えられますが、5年間の美里町としての成果についてお聞かせください。

町長 定住自立圏構想は、人口減少社

会に対応するべく、圏域の市町が相互に役割を分担・連携し、圏域全体のさらなる活性化を図るための取り組みでございます。取り組み内容は、医療・福祉・産業振興・地域公共交通・道路等のインフラ整備・人材の育成等、圏域全体として定住のための暮らしに必要な諸機能を総合的に確保し、住民福祉の向上に努めてまいります。

本庄市児玉郡医師会や歯科医師会と連携し、圏域の休日夜間の初期救急医療体制の強化に尽くしております。



問

地方創生から行政、ボランテイヤ婚活支援

田端 恵美子議員

答 意見交換ができる場をつくりたい (町長)

問 2010年の段階では男性の未婚率が約5倍にふえていて、男性の約3人に1人は結婚しない可能性があります。

そのような中で、昨年の12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が策定されています。

地方創生に、また少子化対策の一環として、結婚したい未婚者を行政やボランテイヤが婚活支援できないものかお聞きします。

町長

実は美里町は近隣の市町と比べて未婚率はかなり高いのです。郡市の中では我が町が一番高いという状況がございます。俗に言われているのは、やはり結婚のまず1つの条件として、ある程度の収入がなければいけないというところ、がどうも一義的には出てくるようです。ちょうど40歳前後の方たちが就職氷河期で、非正規で働いている方も多くありますので、若い人たちのそう

いった非正規の正社員化、また仕事についていない方がいるとすれば、そういった方々の就職支援というのは、ぜひやっていかなければいけないなと思います。

実は39歳までの若者を対象とした「若者サポートステーション」というのが深谷にはあるのですが、なかなか知られていない部分もありますので、町でも少し宣伝もしながら、なおかつ若者を含めた就職支援をぜひやっていきたいと考えております。

婚活サポーターは各地区で有力な手法としてやっていますので、1つの手法かと思っ

ていますし、またそういった方々が一堂に会して意見交換をするような場があるという意見等でもあれば、町でもぜひそういった場をつくることはやりたいというふうには考えております。



身馴川の桜堤



問

利用者の立場に立った公共施設に

大島 輝雄議員

答 何らかの対策をとっていかねばいけない (町長)

問 町では、町外の子育て世代を対象にした美里町定住促進奨励金制度を推進しておりますが、町外利用者の多い体育広場に設置されている簡易トイレは、水道代を小学校が負担していること等を鑑みると、なかなか厳しい設備です。これから公共施設等総合管理計画の策定に取り組むに当たり「美里町で子育てしたい」と思え、また、町をPRできる施設設置をしていく必要があるものと思

としては、更新・統廃合・長寿化など、現状や課題に対する認識を踏まえ、将来的なまちづくりの視点から検討するようにしております。

町の社会体育施設につきましても、大半の施設が建築から20年以上経過し、老朽化していることから、今後は維持管理費の大幅な増加が見込まれております。今後につきましては、利用状況や公共施設等総合管理計画を踏まえ、仮設トイレの設置台数やほかの施設のトイレ使用など、適正な施設管理に努めてまいりたいと考えており、特に体育

広場に関しては、スポーツ少年団の役員の方からもご

要望はいただいておりますので、何らかの対策をとっていかねばいけないと考えております。

急速に進化するインターネット

環境に対応し、情報収集をする住民のニーズに応える公衆無線LANの公共施設への設置についてお伺いいたします。

町長

公衆無線LANにつきましても、町の事業です。町がどういったものを使うという、ある程度明確な方針が

示されないと、なかなか難しい。近隣の本市でもそろそろ入るとい話も聞いておりますので、そういった状況も見ながら、実際の必要性を我々も十分認識しないと、導入しにくいと思っております。



体育広場トイレ



美里M5ミムリン

子どもたちが夢を持てる環境をつくってほしいな。



ミムリンのつぶやき

仕事と育児の両立を支援するため、ファミリー・サポート・センターを設置するよ。



ミムリンのつぶやき

根本 孝代 議員

公共交通（タクシー）利用料金補助事業について

答 よりよい形にしていきたい（町長）



問 平成26年度に試行運行として実施された公共交通対策である公共交通（タクシー）利用料金補助事業は、27年度の予算書に750万円が計上されています。26年度の決算は現段階ではわかりませんが、補正により750万円の予算額であり、26年度と27年度では同額です。27年度は事業実施2年目に当たりますが、「26年度と同様に試行運行としての実施である」と施設方針で述べています。続いて、「試行運行により見えてくる課題を整理しながら制度の充実を図ってまいります」と記されています。

そこで交通弱者への助成制度である公共交通利用料金補助事業に対して、これまで利用者等から意見や要望等はなかったのか。26年度の実施では課題が明確にならなかったため27年度も26年度と同じ方法等で実施する、ということなのか。また、以前の循環バスよりも予算額が多く、予算額に見合った成果が出ていないのではないか。例えば10人乗り程度の自動車で、業者委託して実施できる方法を検討する考えはないのか、についてお伺いします。

町長 意見としては、「病院へ毎週行かなければならず、自宅まで迎えに来てくれるので助かる」「湯かっこへお友達と乗り合わせで行っている」「急に出かける用ができたときにすぐ対応してくれた」などの声があったと報告を受けています。課題としては、タクシーに乗れない方への対応・福祉タクシー券との調整・福祉タクシー事業者との調整があり、この1年間で本稼動に移行できるよう努めてまいります。

また、「デマンド交通や循環バスの小型化の検討では、「定期的な運行は目的地が限定される」「小型車では一度に乗り切れない日が多くある」「利用者がなくても委託業者

に定額料金を支払う」など住民ニーズに配慮することが難しいと考えました。さらに、町外の大きな病院に向かう場合、数十台の車両と多くの人員確保が必要であり、試行的にタクシーを利用した制度に至りました。これからも、よりよい形にしてまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。



公共交通（タクシー）のりば

公共交通（タクシー）利用料金補助事業…いわゆる「交通弱者」の方を対象にしたタクシーを利用した補助制度。1枚当たり500円の補助券が年間96枚を限度に交付されます。

問

「災害時の協力井戸」の募集・登録について

柳瀬 忠作 議員

答 行政区と相談をしながら進めたい（町長）



問

大規模な地震等の災害により長期間断水が発生した場合、美里町においても日常の生活に大きな支障が生じると想定されます。このような事態に備え、飲料水以外に利用する水、たとえば洗濯や掃除、トイレなどで使用する生活用水を確保することは重要です。

町長 防災施設としての活用は、すでに災害時の協力制度として実施している市町村が全国に多数あります。制度として取り入れ

ている市町村の実施方法は、町が主体となる場合や自主防災組織が主体となる場合など、それぞれの市町村の実情に合った方法を取り入れています。井戸は災害時において有効な防災施設になり得るという認識のもと、今後も自主防災組織の図上訓練等の機会の中で、積極的に井戸の活用方法をアピールすることも、地域の実情に合った活用方法や利用方法の制度化、また協力していただける井戸の募集方法や図面化等を、自主防災組織あるいは行政区と相談をしながら進めたいと思っていますので、よろしくお願



井戸を有効活用しませんか？

そこで事前に、近隣の皆様に対して、災害の発生時に限り無償提供していただける個人等の所有や管理する井戸を、各行政区に3から4カ所美里町で募集し、登録要件を満たした井戸を登録し、その登録井戸を「災

害時の協力井戸」として各行政区の区長や自治防災組織等に情報提供していただければ、災害発生時には町民にとって大変心強いのではないかと考えます。

私は、この「災害時の協力井戸」を制度化すれば、大変意義のある防災対策になると考えます。

議会だよりは議会と皆さんをつなぐ情報紙。読みやすくわかりやすい編集を心がけています♪ご意見もお寄せください。

